

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	東北栄養専門学校
設置者名	学校法人 柴田学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
栄養専門課程	本科	夜・通信	25単位	6単位	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

http://www.eisen.ac.jp

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	東北栄養専門学校
設置者名	学校法人 柴田学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<http://www.eisen.ac.jp>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	社会福祉法人 理事長	平成31年4月1日～ 令和5年3月31日	施設・後援会
非常勤	会社役員（代表取締役）	平成31年4月1日～ 令和5年3月31日	広報・情報 学生募集
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	東北栄養専門学校
設置者名	学校法人 柴田学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
<ul style="list-style-type: none"> ・各担当教員が授業概要に基づいて授業方法・内容を作成し、校長が最終確認を行う。 ・成績評価において到達目標に準じているかを判断する為、筆記試験・課題提出・出席の状況・授業態度などを行うことを記載。 ・履修及び試験における注意点には授業に対する姿勢を記載。 ・公表時期は4月開講ガイダンス以降。 	
授業計画書の公表方法	http://www.eisen.ac.jp
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
<ul style="list-style-type: none"> ・学修成果の評価は、筆記試験・出席回数・授業中の態度等、総合評価にて行う。 ・実験・実習・実技・演習の科目については作品提出、レポート提出等の総合評価によることがある。 ・試験及び評価を公正に実施するために必要な事項の規定を生徒に明示している。 	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各授業科目の履修を修了した者に単位を与える。 ・単位の認定は履修時間数、試験の成績、課題提出、授業態度など総合評価にて行う。 ・当該科目の履修時間数が10回以上でなければ、受験できない。 ・試験は定期試験・追試験・再試験・臨時試験とし定期試験を原則とする。 ・全ての科目を100点法にて平均を算出、成績の順位を把握。 ・指標 秀100～95点 優94～80点 良79～65点 可64～60点 不可59点以下 ・59点以下は再試験対象となる。 	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>http://www.eisen.ac.jp</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2年以上在学し各科目について履修する。 ・一般科目は人文・社会・自然の3分野で8単位以上修得。 ・保健体育において講義・実技各1単位計2単位修得。 ・外国語において2単位修得。 ・専門科目において57単位以上修得。 ・所定の全課程を修了したと認められた場合、教員会議にて校長が卒業を認定する。 ・必要単位未修得の取り扱い者に関して、4科目以内は判定会議後特別再試験を行う。 	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>http://www.eisen.ac.jp</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	東北栄養専門学校
設置者名	学校法人 柴田学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.eisen.ac.jp
収支計算書又は損益計算書	http://www.eisen.ac.jp
財産目録	http://www.eisen.ac.jp
事業報告書	http://www.eisen.ac.jp
監事による監査報告（書）	http://www.eisen.ac.jp

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		栄養専門課程	本科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	69 単位時間/単位	645 単位時間 /単位	300 単位時間 /単位	646 単位時間 /単位	225 単位時間 /単位	45 単位時間 /単位
			1861 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
90人		47人	0人	6人	11人	17人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） ・各担当教員が授業概要に基づいて授業方法・内容を作成し、校長が最終確認を行う。 ・成績評価において到達目標に準じているかを判断する為、筆記試験・課題提出・出席の状況・授業態度などで行うことが記載。 ・履修及び試験における注意点には授業に対する姿勢を記載。 ・公表時期は4月開講ガイダンス以降。
成績評価の基準・方法
（概要） ・各授業科目の履修を修了した者に単位を与える。 ・単位の認定は履修時間数、試験の成績、課題提出、授業態度など総合評価にて行う。 ・当該科目の履修時間数が10回以上でなければ、受験できない。 ・試験は定期試験・追試験・再試験・臨時試験とし定期試験を原則とする。 ・指標 秀 100～95点 優 94～80点 良 79～65点 可 64～60点 不可 59点以下 ・59点以下は再試験対象となる。
卒業・進級の認定基準
（概要） ・2年以上在学し各科目について履修する。 ・一般科目は人文・社会・自然の3分野で8単位以上修得。 ・保健体育において講義・実技各1単位計2単位修得。 ・外国語において2単位修得。

<ul style="list-style-type: none"> ・専門科目において57単位以上の修得。 ・所定の全課程を修了したと認められた場合、教員会議にて校長が卒業を認定する。 ・必要単位未修得の取り扱い者に関して、4科目以内は判定会議後特別再試験を行う。
学修支援等
(概要) <ul style="list-style-type: none"> ・クラス担任制 ・キャリアサポート (就職支援) ・学内での資格修得 (パソコン検定試験等)

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
27人 (100%)	0人 (0%)	27人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 栄養士業務 (業界) 給食受託会社、病院 調理業務 福祉施設 (保育園・老人施設・支援施設) 幼稚園教諭、自衛隊			
(就職指導内容) 履歴書の書き方・面接練習 若年者就職支援センター・人材広告企業による特別講義 (就活の心構え等) 給食受託会社・福祉施設による本校主催の会社説明会 就職活動テキストを作成し配付			
(主な学修成果 (資格・検定等)) 栄養士免許 栄養士実力認定試験			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
57人	8人	14.0%
(中途退学の主な理由) 体調不良、家計急変などによる進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 前・後期、各1回個人面談を実施 個別相談 (担任または指導教員が本人や家族と面談)		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
本科	160,000 円	500,000 円	330,000 円	教育充実費 250,000 円
	円	円	円	施設整備費 80,000 円
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.eisen.ac.jp		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 評価項目：教育活動の状況、学校運営の状況 体 制：卒業生、就職先企業等で委員を組織 活用方法：評価や課題を振り返り、校長主導のもと学校運営の改善に努める。 また、保護者・地域関係者とのコミュニケーションを図り教育活動に活かしていく。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
元医師	2019. 2. 1～2021. 1. 31	教育に関する有識者
福祉施設 施設長	2019. 2. 1～2021. 1. 31	専門分野の業界関係者
元高校教師	2019. 2. 1～2021. 1. 31	学校運営や教育に関する有識者
病院栄養士	2019. 2. 1～2021. 1. 31	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.eisen.ac.jp		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.eisen.ac.jp
--